

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2392300121		
法人名	有限会社 あかり		
事業所名	グループホーム あかり		
所在地	瀬戸市宝ヶ丘町310番地の1		
自己評価作成日	平成27年3月16日	評価結果市町村受理日	平成27年6月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [http://www.kaiyokensaku.jp/23/index.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_2014\\_022\\_kani=true&JigvosyoCd=2392300121-00&PrefCd=23&VersionCd=022](http://www.kaiyokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigvosyoCd=2392300121-00&PrefCd=23&VersionCd=022)

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市熱田区三本松町13番19号		
訪問調査日	平成27年3月21日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

ご利用者様の生活リズムに合わせて家庭的な雰囲気の中、その人らしく・自分らしくを中心とした対応を心がけてます。またスタッフ一人一人が感謝の気持ちと相手を思いやる心で、事業所の理念でもある「共想いケア」を実践し、穏やかでやすらぎのある暮らしを提供することをモットーにしています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

理念には『共想いのケア』を掲げており、利用者と職員、利用者同士がお互い様に気持で生活することができることを目指している。ホームは、1ユニットホームでもあるため、利用者と職員の人数が限られていることで、日常的に利用者と職員の距離が近い環境であり、利用者と職員と一緒に洗濯物をたたんだり調理を行ったりしながら、理念に合わせた支援に取り組んでいる。ホームは開設1年目あるが、地域の方との交流の機会をつくるように、町内会の総会に出席して情報交換を行ったり、地域の公民館で行われている体操教室に、ホームから参加する等、ホームを知ってもらおうと取り組みが行われている。また、ホームは同じフロア内にデイサービスを併設しており、今後デイサービスが本格的に稼働する体制に移行した際には、合同での行事の開催も可能である。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	①. ほぼ全ての利用者の ②. 利用者の2/3くらいが ③. 利用者の1/3くらいが ④. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	①. ほぼ全ての家族と ②. 家族の2/3くらいと ③. 家族の1/3くらいと ④. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	①. 毎日ある ②. 数日に1回程度ある ③. たまにある ④. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	①. ほぼ毎日のように ②. 数日に1回程度 ③. たまに ④. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	①. ほぼ全ての利用者が ②. 利用者の2/3くらいが ③. 利用者の1/3くらいが ④. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	①. 大いに増えている ②. 少しずつ増えている ③. あまり増えていない ④. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	①. ほぼ全ての利用者が ②. 利用者の2/3くらいが ③. 利用者の1/3くらいが ④. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	①. ほぼ全ての職員が ②. 職員の2/3くらいが ③. 職員の1/3くらいが ④. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	①. ほぼ全ての利用者が ②. 利用者の2/3くらいが ③. 利用者の1/3くらいが ④. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①. ほぼ全ての利用者が ②. 利用者の2/3くらいが ③. 利用者の1/3くらいが ④. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	①. ほぼ全ての利用者が ②. 利用者の2/3くらいが ③. 利用者の1/3くらいが ④. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①. ほぼ全ての家族等が ②. 家族等の2/3くらいが ③. 家族等の1/3くらいが ④. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	①. ほぼ全ての利用者が ②. 利用者の2/3くらいが ③. 利用者の1/3くらいが ④. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念は『心で通じる共想いケア9私たちは感謝の気持ちと相手を思いやる心で共想いケアを実践します。</li> <li>・はい</li> <li>・はい</li> <li>・実践につなげている</li> <li>・理念を心にとめてお世話させて頂いています</li> <li>・実践につとめています</li> </ul>	ホームでは、介護をする人と介護をされる方がお互いの関係になれるように、「共想い」の気持ちを込めた支援を目指した理念を掲げている。職員には入社時に「仕事ブック」を渡しており、理念の共有につなげている	職員が定期的に理念を振り返り、『利用者へのより良い支援につながるように、理念の共有と実践を通じた、職員間の信頼関係の構築に期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事、(体操教室、クリスマスコンサート等)積極的に参加しています。</li> <li>・機会があれば積極的に交流するようにしている</li> <li>・町内である行事等、参加できる物はしている、利用者の体調により変更あり</li> <li>・利用者が参加できる行事には参加しているので地域とのつながりはある</li> <li>・夜勤のみですので詳しいことはわかりません</li> <li>・交流している</li> </ul>	ホームは町内会に入り、町内会の総会にも参加する機会も得られており、地域の方との交流にも取り組んでいる。また地域の公民館で行われる体操教室には、ホームからも利用者も参加している	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーターとして地域の人々に話題を提供し理解をもって頂いている。</li> <li>・そのような機会はあまりない</li> <li>・公民館等の研修に参加あり</li> <li>・地域の人々に向けて活かしている</li> <li>・夜勤のみですので詳しいことはわかりません</li> <li>・研修等を受けている</li> </ul>		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議は定期的開催している。保険者、家族様にホームに来ていただき、御意見や要望を聞いている。</li> <li>・参加したことありません</li> <li>・はい、皆さんからの話を聞いて、させて頂いています</li> <li>・夜勤のみですので詳しいことはわかりません</li> </ul>	会議を定期的開催しており、会議の際には、市役所の職員と地域包括支援センター職員が出席していることもあり、運営面に関する情報交換にもつながっている。また訪問看護の方にも出席してもらい機会もつくり、医療面での情報交換も行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者との相談ごとや、ホームの状況などその都度、話す機会がある。</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・取り組んでいる</li> <li>・夜勤のみですので詳しいことはわかりません</li> <li>・取り組んでいる</li> </ul>	運営推進会議の案内等を市の担当部署にも持参しており、定期的な情報交換にもつなげている。市内の地域密着型事業所の部会が発足することになり、ホームにも参加している。また、地域包括支援センターとの情報交換も行われている	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの目の届かない場所にはやむなく施錠している。</li> <li>・玄関は施錠しています</li> <li>・その状況になった時、必ず話し合いをする</li> <li>・施錠はしていますが、施設の中は自由にしている</li> <li>・玄関の出入りはしています</li> <li>・入所者の心を理解して接するようにしています</li> <li>・玄関の施錠はあるが、フロア内は自由にうごけます</li> </ul>	ホームでは、身体拘束を行わない支援を基本にしているが、安全面の配慮を考え、玄関の施錠と居室の窓にはセンサーがついている。職員の対応についてはミーティング後に話し合う機会も作るように取り組んでいる	現状の玄関の施錠や窓のセンサーに関しては、安全面の配慮も重要であるが、その分職員の勇力が低下することがある。職員の見守りの体制の見直し等、検討を重ねながら、より良い支援につながることを期待したい
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフには、虐待防止の知識を学び、防止に努めている。</li> <li>・努めている</li> <li>・はい</li> <li>・虐待はない言葉で説明はしている</li> <li>・努めています</li> <li>・話すことで説明しています</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内研修会で学び周知している。ホームでの利用者様1名この制度を利用されています。</li> <li>・詳しく分かりません</li> <li>・一人利用者さんもそうですので、話を伺ったりしています</li> <li>・学ぶ機会はないし、話をすることもない。成年後見人はいます</li> <li>・夜勤のみですので詳しいことはわかりません</li> <li>・後見制度について学ぶ機会はありません</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が説明し維持されていると思います。</li> <li>・詳しく分かりません</li> <li>・はい、最初はもちろん変更等があった場合、話をさせて頂く</li> <li>・携わっていない</li> <li>・されていると思います</li> <li>・携わっていません</li> </ul>		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族様の訪問時に何か問題等があれば、早めに対処し話し合っています。</li> <li>・来所された時等、話をさせて頂いてます</li> <li>・されていると思います</li> </ul>	現状、家族が集まる機会が作られていないため、今後のテーマでもある、法人代表者が日常的にホームに勤務していることもあり、家族からの要望等には柔軟に対応するように取り組んでいる。また、ホーム便りについては、全体の便りと個別の便りが作成されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ会議やその都度何か問題があれば、職員の意見を聞き早めに対処しています。</li> <li>・ミーティングは行っている</li> <li>・はい、させて頂いてます</li> <li>・二か月に一度ミーティングをさせて頂いている</li> <li>・すこしずつ反映されていると思います</li> </ul>	現状、2ヶ月舞ぐらいにミーティングの機会が作られ、法人代表者、感謝を交えた話し合いの機会が作られている。ホームは開設1年目でもあるため、今後、雇用期間が1年更新であるため、代表者との個別の面談を予定している	職員が前向きな気持ちで勤務することは、利用者へのより良い支援のためにも重要である。現場の状況にも合わせた職員配置を行う等、職員から前向きな意見が出されるホームの実現に期待したい
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の希望を聞き勤務状況など評価していると思います。</li> <li>・努めているとは思えません</li> <li>・人手不足</li> <li>・スタッフ不足 手当もない、労働時間も長い 重労働です 仕事の割には給与が低いです</li> <li>・よくわかりません</li> <li>・スタッフも少ないし、給与も水準より低い</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会など積極的に参加するよう促している。</li> <li>・研修を受ける機会はたまにあるが、人手がない為、実行できません</li> <li>・研修等あります</li> <li>・研修を受ける事はあります</li> <li>・よく分かりません</li> <li>・研修を受ける機会があるが</li> </ul>	/	/
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の部会に参加している。</li> <li>・ないです</li> <li>・ないです</li> <li>・同業者との交流はない</li> <li>・されていると思います</li> <li>・同業者との交流はない</li> </ul>	/	/

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期には家族からも情報の聞き取りをし、不安なく生活できるように努めている</li> <li>・努めているつもり</li> <li>・家族の話聞き、御本人声かけもして、コミュニケーションとりながらさせていただいてる</li> <li>・対応はしています</li> <li>・努めています</li> <li>・対応はしている</li> </ul>		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が意見や要望が言いやすいような関係作りをしている</li> <li>・努めているつもり</li> <li>・話し合いを持ち気軽に声かけて頂けるよう</li> <li>・要望を聞きながら対応している いい関係だと思ふ</li> <li>・努めています</li> <li>・話を聞きながら、要望等に対応し、良い関係作りにつとめている</li> </ul>		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画書を作成し、計画書に沿ってケアをしている</li> <li>・努めているつもり</li> <li>・努めています</li> <li>・努めている</li> <li>・努めています</li> <li>・努めています</li> </ul>		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の職員らしくなく、娘や孫が付き合っている様に見られるように気をつけている</li> <li>・はい築いています</li> <li>・築いている</li> <li>・努力しています</li> <li>・築いています</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族様の役割として、ホームに来て頂く用事を作っている</li> <li>・築いてるつもり</li> <li>・はい、連絡したり、来初された時話をする</li> <li>・家族ではないけど、本人にはよく声をかけている</li> <li>・努力しています</li> <li>・家族の絆ほど強くはないけれど、関係は築いています</li> </ul>		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知人や友人の面会など快く受け入れている</li> <li>・築いてるつもり</li> <li>・はい</li> <li>・支援しています</li> <li>・わかりません</li> <li>・とぎれないように支援しています</li> </ul>	利用者の親戚や近所の友人だった方等がホームに訪問する機会が得られており、なじみの方との交流にもつながっている。また家族との外出の機会もつくられており、喫茶や買い物等の他にも時には自宅に戻り、家族と過ごしてる方もいる	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う人同士、席を近くするなど配慮をしている</li> <li>・なかなか出来ていない</li> <li>・会話もあり、みなさんが過ごせる様</li> <li>・利用者一人一人に声をかけ孤立しないようにしています</li> <li>・努めています</li> <li>・一人一人に声かけし、支援に努めている</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亡くなったり退居された方をお会いた時には挨拶をしている</li> <li>・努めている</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・努めていると思います</li> <li>・</li> </ul>	/	/
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の思いを大事にし出来る事は実行するようにしている</li> <li>・</li> <li>・はい、検討しています</li> <li>・検討しています</li> <li>・本人の思いを大切に話を聞いています</li> <li>・検討しています</li> </ul>	ホームは1ユニットである、職員も限られた人数で支援を行っている為、職員全員で利用者の把握が行われ、職員の気づき等は日常的にも共有につなげている。またアセスメントには24時間シートも活用しており、利用者の把握につなげている	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントにより、本人が今まで暮らしてきた環境になるべく近づけるようなケアを心がけている</li> <li>・</li> <li>・はい、話をしたりコミュニケーションをとって把握します</li> <li>・話を聞き、経過など把握に努力している</li> <li>・努めていると思います</li> <li>・話を聞き、経過等の把握に努めています</li> </ul>	/	/
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームの生活リズムに合わせるのではなく、本人に聞きながら対応している</li> <li>・努めている</li> <li>・はい</li> <li>・日々全部把握している</li> <li>・努めていると思います</li> <li>・全部把握している</li> </ul>	/	/



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新時、身体状況の変化等に応じ、サービス担当者会議、介護計画書の変更などをしてる</li> <li>・努めている</li> <li>・はい、そうさせて頂いています</li> <li>・</li> <li>・していると思います</li> <li>・</li> </ul>	介護計画については、3か月で見直ししながら6か月での更新を行っている。職員による支援を通じて、計画作成担当者により、支援経過記録に残しており、日常的なチェックを行いながら3か月で、のモニタリングにつなげている	介護計画の内容について、職員全体で共有できるように、計画の内容の一部を日常の記録にも反映できるようにする等、職員と共有できるような取り組みにも期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケア記録等、共有し実践できるように努めている</li> <li>・している</li> <li>・はい、しています</li> <li>・個別記録はしています</li> <li>・実践しています</li> <li>・個別記録はしています</li> </ul>	/	/
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度、本人、家族の希望に応じ柔軟に対応している</li> <li>・それなりに取り組んでいる</li> <li>・</li> <li>・柔軟な支援はしている</li> <li>・努めていると思います</li> <li>・柔軟なサービスはしている</li> </ul>	/	/

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマンサービスを利用している。訪問美容、ボランティア等協力を頂いている</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・支援していない</li> <li>・していると思います</li> <li>・していない</li> </ul>		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・往診医や、認知症専門医、訪問歯科を受けられるよう支援している</li> <li>・支援している</li> <li>・月一回往診 それ以外に認知症専門医も</li> <li>・支援している</li> <li>・されています</li> <li>・適切な医療を受けられるように支援している</li> </ul>	現状、利用者全員が、ホーム協力医をかかりつけ医としており、月1回の訪問医療を通じた医療面での支援が行われている。また訪問看護による利用者の健康チェックの他にも、機能訓練面の支援も行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護師、PTと連携をとっている</li> <li>・</li> <li>・週1の訪看さんにて状況を伝えている</li> <li>・訪問看護師には詳しく話をし聞いている、支援している</li> <li>・されています</li> <li>・訪問看護はしています</li> </ul>		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく早く退院できるよう、ホームでの受け入れ体制を整えている</li> <li>・</li> <li>・ない</li> <li>・</li> <li>・されています</li> <li>・</li> </ul>		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターミナルケアについて、入居時、家族様に説明している</li> <li>・</li> <li>・話し合いは入居時にしただけ</li> <li>・</li> <li>・されていると思います</li> <li>・</li> </ul>	ホームとしては、終末期についても前向きに考え、協力医や訪問看護とも連携した取り組みが行われている段階である。現状は、ターミナルケアは行われていないが、重度の方も生活していることもあり、家族と段階に合わせた話し合いが行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、緊急時の対応について、研修会を行っていききたい</li> <li>・していない</li> <li>・、まだしっかりしていない</li> <li>・していません</li> <li>・されています</li> <li>・</li> </ul>	/	/
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を行っている</li> <li>・訓練はしている</li> <li>・マニュアルはあるが、話をしていない</li> <li>・避難訓練はしています</li> <li>・されています</li> <li>・避難訓練は行っています</li> </ul>	今年度の訓練は1回であったが、次年度からは年2回を予定している。地域の方とも町内会の総会の際にも話し合わせ、連携にも前向きに取り組んでいる。など、夜間を想定した訓練やホーム内の備蓄品の確保については今後のテーマである	避難訓練の際には地域の方に案内を行ったり、地域の災害訓練にはホームも参加する等相互の交流につながることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーに配慮している 特にトイレ時に大きな声で言ったり、トイレの戸は閉めて介助する</li> <li>・対応しているつもり</li> <li>・普通です</li> <li>・努めています</li> <li>・普通です</li> </ul>	職員が利用者に対して大きな声で言わない対応やプライバシーに配慮した対応等、気になった際には、ミーティング等の機会にも触れるようにしている。1ユニットのホームでもあるため、慣れ合いにならないように、意識につとめている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理強いはず本人に、聞きながら行っている</li> <li>・思いや希望は聞ける範囲で聞いている</li> <li>・話を聞いたりするが訴えが少ない</li> <li>・要望は聞きますが自己決定できるようにはしていない</li> <li>・努めています</li> <li>・希望は聞くけど自己決定できるように働きかけていない</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人に聞きながら、本人それぞれのペースで過ごせるように支援している</li> <li>・一人一人のペースは無理です</li> <li>・入居者同士の会話もある まったりと過ごして頂いている</li> <li>・希望にそって支援していません、一人ひとりの希望を聞いていたら大変です</li> <li>・努めています</li> <li>・一人ひとりの希望を聞いていたら大変です</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、身だしなみをスタッフの見守りで整えている。男性は毎日ひげそりの支援をしている</li> <li>・洋服に関しては家族任せ その他の身だしなみは支援している</li> <li>・はい、その時期にあったものを着て頂いている</li> <li>・しています</li> <li>・努めています</li> <li>・しています</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材を事業所においているので、献立を利用者様と考える事はない 行事等でおやつ作りをしている</li> <li>・好みは合わせられませんが、出来る事はして頂いてます</li> <li>・好みは把握している 手伝って頂く事が少なくなった</li> <li>・しています</li> <li>・努めています</li> <li>・しています</li> </ul>	<p>食材業者によりメニューに基づき、職員による調理が行われており、調理の際には利用者もできる事に参加している。時にはおやつ作りを行ったり、行事食の取り組みも行われている。また食事の際には、職員も見守りながら一緒に食事を行っている。</p>	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形状を量を個別に合わせて行っている</li> <li>・している</li> <li>・はい</li> <li>・しています</li> <li>・努めています</li> <li>・しています</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問歯科で見て頂いてる スタッフは毎食後の口腔ケアの支援をしている</li> <li>・している</li> <li>・はい、させて頂いてる</li> <li>・しています</li> <li>・努めています</li> <li>・しています</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの声かけや誘導を行い、トイレでの排泄ができるように支援している</li> <li>・行っている</li> <li>・基本、トイレに行かれる こちらから声かけすることがある</li> <li>・支援しています</li> <li>・実践しています</li> <li>・しています</li> </ul>	利用者全員が、トイレで排泄できるように、24時間シートでの排泄チェックを行い職員間で情報を共有しながら、トイレでの排泄に取り組んでいる。またハード面でも、トイレの場所が分かるように、通路の色を変える工夫も行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排便の記録を行い、水分を多めに飲んで頂いたり、主治医に相談し服薬を処方してもらう</li> <li>・取り組んでいる</li> <li>・便の管理等している 訪看さんにも相談したり、スタッフと話す、薬に頼ることもある</li> <li>・テーブルの周りを歩いています</li> <li>・努めています</li> <li>・テーブル周りを歩いてもらってます</li> </ul>		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなかゆっくり入浴して頂けず、残念に思います</li> <li>・曜日や時間はある程度決まっている</li> <li>・入浴日が決まっている</li> <li>・個々に沿った支援をしている たとえば温度調整とか浴槽の中に椅子をいれたりとか、入浴剤をいれたり</li> <li>・されていると思います</li> <li>・一人ひとりの希望に合わせています</li> </ul>	ホームでは週2~3回の午前中に入浴が行われている。更衣を行うスペースが広く、浴室の手すりの位置も配慮されており、利用者が自身で入浴できるように取り組んでいる。また入浴剤や季節の柚子湯等の取り組みも行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個室でゆっくり休んで頂けるように配慮している</li> <li>・支援している</li> <li>・ソファであったり、ベッドにてさせて頂いてる</li> <li>・昼寝するようにはしているがしない人が多い</li> <li>・努めています</li> <li>・昼寝をするように心がけているがしない人の方が多い</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師からの、処方箋の副作用をすぐ見られる様、個人ファイルに入れてある</li> <li>・努めている</li> <li>・変更があったときでも、状況を確認させて頂いてる</li> <li>・努めています</li> <li>・努めています</li> <li>・しています</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなテレビ(歌番組、時代劇等)見られる様支援している</li> <li>・なかなか難しいです</li> <li>・声かけ等にて</li> <li>・毎日ではないが時々かな</li> <li>・されていると思います</li> <li>・毎日ではないが、時々しています</li> </ul>		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族等の協力を得ながら外出できるよう、支援していきます</li> <li>・現段階で外出は無理です。家族が一緒なら、</li> <li>・外出をしていない 家族と出掛ける人はいる</li> <li>・外出をさせたいけどできない スタッフ不足</li> <li>・夜勤のみなので分かりません</li> <li>・外出はしてもらいたいができない</li> </ul>	季節に合わせた外出行事が行われたり、近隣にある学校にも理解を得ながら、キャンパス内の並木道を散策する機会も作られている。また地域の鉄道の駅の行事にも参加する機会もつづられている。	ホームでは職員体制もあり、日常的な外出支援が限られている現状がある。利用者と職員がホームから外に出る機会を作ることで、他のより良い支援につながるように、今後の取り組みに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者の考えにより、お金は預からないようにしている</li> <li>・していません</li> <li>・していない</li> <li>・本人がお金を持っていることはしていない</li> <li>・わかりません</li> <li>・本人がお金をもつことはないです</li> </ul>		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族にはいつでも電話できるように支援している</li> <li>・していません</li> <li>・していない</li> <li>・していない</li> <li>・されていると思います</li> <li>・していない</li> </ul>		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くつろぎやすい様な雰囲気、ソファなどで過ごして頂いてる</li> <li>・している</li> <li>・はい</li> <li>・工夫しています</li> <li>・されていると思います</li> <li>・居場所の工夫をしている</li> </ul>	ホーム内は落ち着いた色彩であり、窓が大きく採光にも優れていることで、リビング内は明るい雰囲気となっている。またリビングには、テーブルの椅子の他にもソファの配置が行われており、利用者がくつろげる場所も確保されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソファで気の合う人とおしゃべりを楽しんでおられる</li> <li>・一人になりたいときは各部屋、利用者同士だとフロア</li> <li>・テーブル、ソファ、椅子 お部屋をくつろげるようにしている</li> <li>・</li> <li>・されていると思います</li> <li>・</li> </ul>		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅から、なじみのタンスや、家族の写真をもってこられる人もいる</li> <li>・している</li> <li>・はい、入居の時、使いなれた物、家にいるときとかわからないように、話をした</li> <li>・している</li> <li>・されていると思います</li> <li>・</li> </ul>	居室には、利用者の馴染みの家具類の持ち込みが行われており、一人一人に合わせた居室作りに取り組んでいる。また利用者により、畳マットを敷いている方もおり、家族と居室で過ごしている方もいる。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	<p>トイレには分かりやすい表示、手すりがあり、安全に移動ができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・部屋等、名前をつけたり、トイレも表示 その他声かけにより誘導している</li> <li>・安全で各個室なので、自立した生活ができていると思います</li> <li>・されていると思います</li> <li>・安全かつ自立した生活を送れるように工夫している</li> </ul>		